

(一社)千葉県臨床心理士会 2月研修セミナー 講演会
家族の理解と支援の基本

～現象学としての心理臨床～

講師 光元 和憲 氏 (ちば心理教育研究所長)

今回のセミナーの午前の部として開催する全体講演会では、約10年ぶりに「ちば心理教育研究所」所長の光元和憲先生にお越しいただき、「家族の理解と支援の基本」をメインのテーマとしてお話をさせていただきます。

心理臨床家とは
常識の枠内に留まろうと共同体の内に立つ姿勢、
常識に疑義を唱え(現象学)共同体の外に立とうとする姿勢、
その両方に立ち、覚悟する者である

「暴力」「依存」などの現象を通して、健康な対人関係とは何か、家族への支援とは何か、光元先生流の考察から、深～いお話が伺える貴重な機会になることでしょう。

講師プロフィール : ちば心理教育研究所、所長。1947年広島県生まれ。臨床心理士。小児科・精神科での心理臨床歴24年を経て、1995年「ちば心理教育研究所」を開設。カウンセリング・箱庭療法・家族療法を行うとともに、千葉市立あおば病院看護学校他で非常勤講師、教育相談所・児童相談所・家庭裁判所のスーパーバイザーとして、後進の育成にあたる。千葉県児童虐待対応専門委員、NPO法人虐待から子どもを守る支援ネットワークちば代表。ジブリ作品の分析を取り入れた講義はユニークで、ファンも多い。著書 「母と子への贈物」(かもがわ出版) など多数。



日時 : 平成31年2月10日(日)10:00～12:10(9:30 受付開始)
会場 : 千葉市文化センター 5階セミナー室
千葉市中央区中央2-5-1 JR千葉駅より徒歩10分
対象 : 臨床心理士、対人援助職の専門家

(教育、保健・医療、福祉、司法等)

※ この講演は臨床心理士だけでなく、対人援助に関わっている方々にもご参加いただけます。職場の他職種の方々にも、ぜひお声をおかけください。

※ 臨床心理士以外の方の講演のみの参加は、参加費 1,000 円です。<https://ws.formzu.net/fgen/S13869159/> から事前エントリーをお願いします。

メールフォームQRコード→



※ 臨床心理士の方も事前申し込みが必要です。詳細は当会発行の「News Letter ちば」等をご参照ください。